予算に対する討論

平成26年度予算は、起立多数をもって認定されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同予算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

志政会　賛成

一般会計予算および4特別会計予算について賛成します。

▽将来に渡って持続的な発展を可能にするために、「最小の経費で最大の効果」の実現に向けた取り組みが反映された予算と認識します。▽近年、基金残高は減少、市債残高は増加の傾向ですが、その活用手段は有効であり、総合的な海老名の魅力と市民サービスの向上につながっていると受け止めています。▽開館が11月に予定されている「えびな市民活動センターレクリエーション館」が、幅広い年代に利用され、多くの市民の健康増進が図られることを期待します。▽図書館の利用者サービスを一層向上させるために指定管理者制度が導入されます。民間事業者の発想に基づく、魅力的なサービスの提供を期待します。▽福祉総合窓口業務の民間委託、市役所連絡所機能や都市間交流拠点機能を有する「(仮称)えび～にゃハウス」の設置に向けた取り組みに期待します。▽「公共施設白書」の策定については、これを基に長期的な施設の在り方について検討するよう要望します。▽将来都市像である「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の実現のため、各種事業が有効に執行され、市の魅力向上につながることを期待します。

平成26年度　各会計別予算総括表

(金額の単位は千円)

会計名		平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		41,343,000	39,124,000	2,219,000	5.70%
特別会計	国民健康保険事業	13,440,439	13,415,121	25,318	0.20%
	下水道事業	3,131,123	3,040,445	90,678	3.00%
	介護保険事業	6,446,898	5,915,359	531,539	9.00%
	後期高齢者医療事業	1,218,050	1,142,062	75,988	6.70%
	小計	24,236,510	23,512,987	723,523	3.10%
合計		65,579,510	62,636,987	2,942,523	5.10%

▲建設が進む「えびな市民活動センターレクリエーション館（手前）」

市政改革の会　賛成

一般会計予算および4特別会計予算について賛成します。

▽在宅医療連携拠点づくりについて、高齢者の方が自宅で安心して暮らしていくために、関係機関と連携し、在宅医療・介護の提供を積極的に展開されることを期待します。▽可燃ごみの減量化に向けて剪定枝モデル事業が計画されていますが、近隣市は、すでに無料で戸別収集を実施しています。無駄なことをやめ、近隣市を視察し、検討することを要望します。▽図書館への指定管理者制度導入の目的は、民間のノウハウを活用し、経費の節減や市民サービスを向上させることにあります。監督者という立場から経費節減などに努めさせ、市民が満足する運営を進めさせることを強く求めます。▽中心市街地のまちづくりにおいては、財政の身の丈を考え、事業の優先度や市民満足度などを十分見極めた上で、計画的に実施すべきです。▽公共施設白書の策定は、じっくりと調査・検討し、公共施設の設置は、市民ニーズも踏まえ、計画的に進めていただきたい。▽20～30年先の海老名市のあるべき姿・ビジョンを市民にとってわかりやすく描き、具体的なロードマップを一体的に作成し、市民との合意形成を構築することを求めます。

創新海クラブ　賛成

一般会計予算および4特別会計予算について賛成します。

▽海老名駅西口土地区画整理事業は西口中心広場、駅前1号線、プロムナードなどの基盤整備にも着手され、駅間自由通路の整備も進み、東西一体の中心市街地ができあがろうとしています。▽経常収支比率は上昇傾向ですが、現在まちづくりの正念場であり、短期的な財政収支の悪化は容認しながら、中長期的な視点で持続可能なまちづくりを考えていく必要があります。▽過去最大の予算でありながら、後年度の負担を考え、市債や基金を適切に活用されていることは大きく評価できます。▽教育関係では屋外トイレの改修などハード面の充実も評価できますが、少人数教育指導、いじめ指導、補助指導などに市費で教員を採用するなど、ソフト面に対しても予算を配分している点は高く評価できます。▽検診などの予防事業の普及啓発を目的として新設された「健康マイレージ事業」は期待される事業です。▽高齢者の外出のきっかけとなるふれあいランチ事業や、在宅医療・介護を充実させるための関係機関による包括的連携の強化なども重要です。▽2月の大雪に対する行政や学校の対応などについて、しっかりと課題を検証していただきたい。